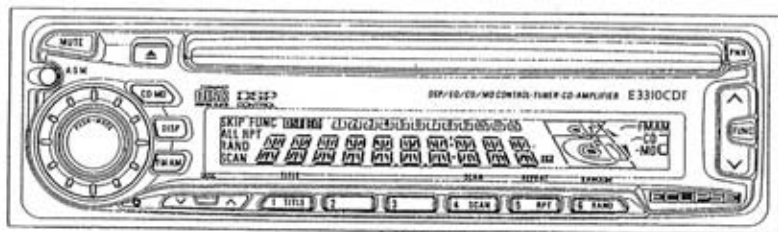


ECLIPSE

マルチコントロールCDメインユニット

E3310CDT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC 12Vアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。

火災や誤動作などの原因となります。

- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。

このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。

- 本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。

規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。

- 自動車の運転中にCD等の交換をしないでください。

事故などの原因となります。

- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。

大きな事故や窒息死の原因となります。

注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
- 指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災や怪我の原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性〈+・-〉に注意し、表示通りに入れてください。
間違えますと電池の破裂、液漏れにより、怪我や周囲を汚染する原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
本機の改造は危険なレーザー放射の被ばく（視力の低下の原因）をもたらせたり、事故の原因となることがあります。

目次

使用上のご注意	7
本機をお使いになるうえでのお願い	7
コンパクトディスク (CD) について	8
コンパクトディスク (CD) の清掃	11
各部の名称	12
基本操作	13
電源を入れる / 切る	13
CD を聞く	13
ラジオを聞く	14
音量を調節する	15
本機をリセットする	15
時刻の設定	16
その他	17
CD 部の操作	20
CD を聞く	20
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	21
曲の始めの部分を演奏する (SCAN)	21
繰り返し演奏する (REPEAT)	22
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	22
CD のジャンルを表示させる	23
ディスクを取り出す	23
チューナ部の操作	24
自動的に放送局を記憶させる	24
手動で放送局を記憶させる	25
記憶させた放送局を確認する	26
放送局名を表示する	27
FM 放送について	28

リモコンの操作	31
使用上の注意	31
清掃について	31
電源を入れる / 切る	32
音量を調節する	32
機能を切り換える	32
チューナ利用時の操作	33
MD、CD 利用時の操作	34
TV 利用時の操作	35
電池を交換する	36
 (別売) CD オートチェンジャーを 接続したときの操作	38
基本操作	38
 (別売) MD チェンジャーを接続したときの操作	41
基本操作	41
タイトル名 / 曲名を表示する	44
 (別売) DSP/EQ を接続したときの操作	45
DSP の操作	45
EQ の操作	49
 インフォメーションが点滅する	52
トラブルシューティング	52
 困ったときは	54
 仕様について	56
 アフターサービスについて	57

◆使用上のご注意

本機をお使いになるうえでのお願い

- ◎安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。



- ◎確認しましたか？

このCDデッキは左のマークの付いたコンパクトディスク以外は使用できません。



- ◎いれていませんか？

ディスク差し込み口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないよう特にお子様のいたずらに注意してください。



- ◎激しい振動をあたえないで！

悪路を走行中、激しく振動した場合、音とびをすることがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからご使用ください。



- ◎結露現象について

寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、デッキ内部にも露（水滴）を生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

〈正しい取り扱いとお手入れによって、いつまでも最良の状態でお楽しみください。〉

コンパクトディスク (CD) について

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



- ◎ ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。

ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



- ◎ 信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



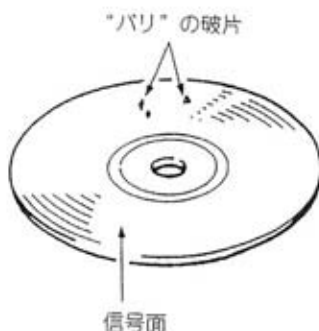
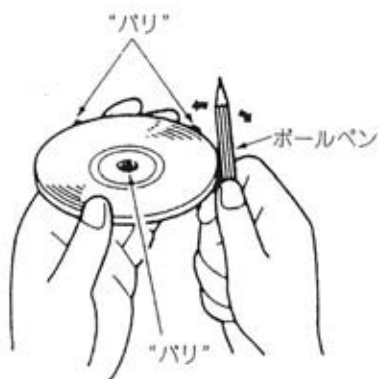
- ◎ ディスクはデッキ内部で高速回転しますので、ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



- ◎ 記録面に触れないように取り扱ってください。

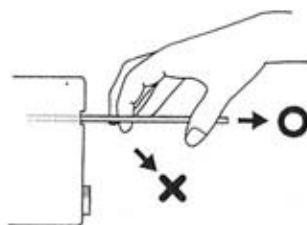
新しいCDについて

新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているCDを使用すると、デッキに、入らなかったりします。また、使用中に“バリ”の破片がCDの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



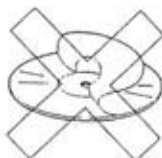
CDの取り出し方について

◎本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



CD用アクセサリについて

- 音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は、使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

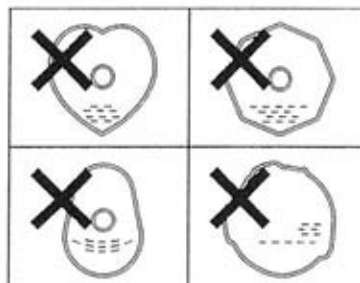


レンタルCDについて

- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

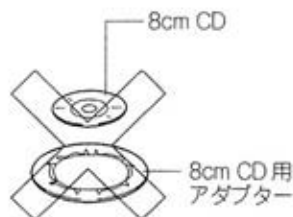
特殊形状CDについて

ハート型や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



8 cm CDについて

- 本機では8 cm CDをアダプターなしで再生することができます。
- 8 cm CDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。



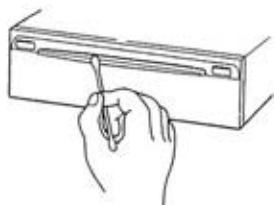
コンパクトディスク（CD）の清掃について



- ◎ ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



- ◎ ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナなどは使用しないでください。



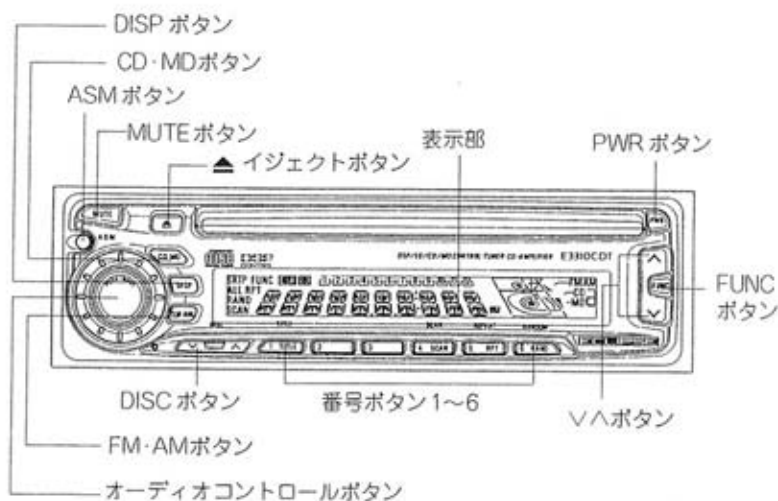
- ◎ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入するとディスクに傷が付くことがあります。

◆各部の名称

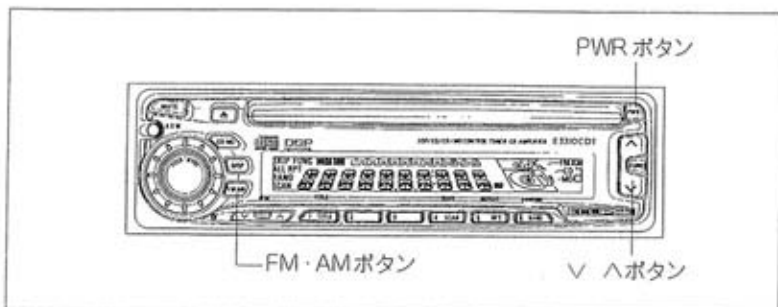
本機のおもなボタンを紹介します。

詳細は、各操作の説明を参照してください。(C Dの操作20ページ、チューナの操作24ページ)

本機正面



◆基本操作



本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。
詳しくは、機能別の説明を参照してください。

車両のキーをONにすると時間帯によりメッセージがスクロールします。

■電源を入れる／切る

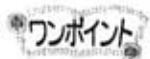
以下の手順で電源を入れたり、切ったりします。

- 1 ■ ^{パワー} [PWR] ボタンを押す
ボタンを押すと、スタンバイ状態となり、ボタンを長めに（2秒以上）押すとOFF状態になります。

■CDを聞く

以下の手順でCDを聞きます。

- 1 ■ 挿入口にレーベル面を上にしてディスクを挿入する
自動的にディスクを引き込んで、演奏を開始します。



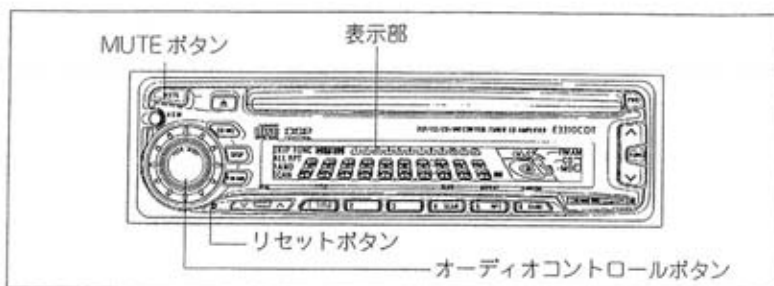
すでにCDが装てんされているときは、[CD・MD] ボタン押すと演奏を開始します。

■ラジオを聞く

- 1 ■ [FM・AM] ボタンを押す
チューナの操作に切り換わります。
- 2 ■ [FM・AM] ボタンを押して、FM/AM を切り換える
ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。
- 3 ■ [V △] ボタンを押して、放送局を選択する
[V △] ボタンを短めに（1秒未満）押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動的に放送局を探します。
△ 周波数の高いほうへ選局
V 周波数の低いほうへ選局



放送局を記憶させてある場合は[番号ボタン1～6]のいずれかを押して、放送局を直接選択できます。（「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照）



■ 音量を調節する

- 1 ■ [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
 左に回す ... 音量が小さくなる
 右に回す ... 音量が大きくなる

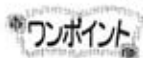


瞬時に音量を小さくしたいときは、[MUTE] ボタンを押します。もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[オーディオコントロール] ボタンを左右どちらかの方向に回すと MUTE 解除されます。

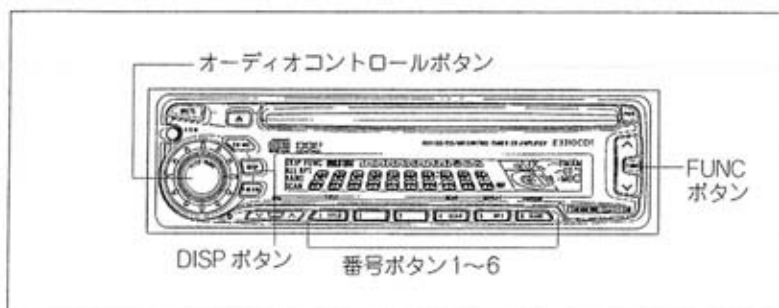
■ 本機をリセットする

表示部が正しく表示されなかったり、本機が正しく動作しないときは、以下の手順で本機をリセットします。

- 1 ■ [リセット] ボタンを押す
 ペン先などでボタンを押してください。



リセットすると、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されますので、もう一度、セットしなおしてください。



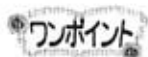
■時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM12:00、正午はPM12:00と表示されます。

1. ディスプレイ [DISP] ボタンを押して、時計表示に切り換える

2. ディスプレイ [DISP] ボタンを押しながら [番号ボタン1] または [番号ボタン2] を押す
時間を調節します。[番号ボタン1] 数字が減る
[番号ボタン2] 数字が増える

3. ディスプレイ [DISP] ボタンを押しながら [番号ボタン3] または [番号ボタン4] を押す
分を調節します。 [番号ボタン3] 数字が減る
[番号ボタン4] 数字が増える



00分00秒（正時）に時計を合わせたいときは、ディスプレイ [DISP] ボタンを押しながら [番号ボタン5] を押します。
正時合わせは、30分単位で切り換わります。

例)

PM3:23 → ディスプレイ [DISP] ボタン + [番号ボタン5] → PM3:00

PM3:32 → ディスプレイ [DISP] ボタン + [番号ボタン5] → PM4:00

■ その他

その他、本機には次のような機能があります。

[FUNC] ボタンを押して、ファンクションモードに切り換えてから操作します。

(ファンクモード中は「FUNC」表示が点灯します)

また、操作が終了したら再度 [FUNC] ボタンを押してファンクションモードをOFFしてください。(「FUNC」表示が消えたことを確認してください)

▼ ガイドトーン (操作音) 解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンを解除できます。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [FUNC] ボタンを押す
3. 「BEEP OFF」と表示されるまで [番号ボタン6] を1秒以上で押す



再びガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。

▼ デモンストレーション機能 (販売店様向け機能)

お買い求めになったときは、本機および組合せの機器が持っている機能を一定の間隔で表示 (デモンストレーション) するように設定されています。

次の手順で表示の設定/解除を行います。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [FUNC] ボタンを押す
3. [番号ボタン6] を押す

設定がONになっているときは解除され、OFFになっているときはONになります。



- ・上記以外に、本機の電源をOFFにしたり、車のキーをOFFにしたりすると解除されます。
- ・設定がONになっているときは、順番に表示が切り換わります。

チューナモード時

周波数表示→放送局名表示→時計表示

TV モード時

状態表示→時計表示

CD プレーヤ、CD チェンジャー、MD プレーヤ、
MD チェンジャー時

TRACK・経過時間表示→タイトル表示→時計表示

▼サブウーファの位相切り換えをする

以下の手順で位相を切り換えます。

1. [FUNC] ボタンを押す

2. [番号ボタン5] を押す

フルレンジスピーカとウーファとの音のつながりを位相を切り換えることにより改善できます。

位相を切り換えて違和感なく音のつながる方を選択してください。

▼出力レベルを調整する

以下の手順で出力レベルを調整します。

1. [オーディオコントロール]ボタンを1秒未満で押すごとに次のように切り換わります。



2. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回して調整する
 右 強調する
 左 弱める



- ・ただし、オーディオコントロールモード表示無し時からボタン操作された場合のみ、VOLUME モードからモードを開始します。
- ・DSP / EQ 接続時で DSP ON、DSP / EQ ON の状態では FADER の調整はできません。
- ・DSP / EQ の簡易調整では DSP / EQ 接続時のみ可能です。また、DSP / EQ の詳細で調整すると簡易調整は飛ばされます。(45 ページ参照)
- ・BASS、TREBLE は各ソース (AM、FM、カセット、CD、MD、TV) ごとの調整となります。(DSP 未接続時のみ)

▼ラウドネスの設定

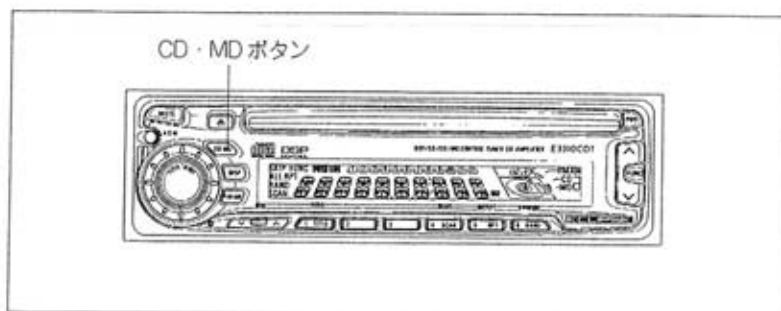
ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くとときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1. 「LOUD ON」と表示されるまで [オーディオコントロール] ボタンを押す



- ・ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。

◆CD部の操作



ここでの操作は、[CD・MD] ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにCDを装着していることを前提に説明します。

■CDを聞く

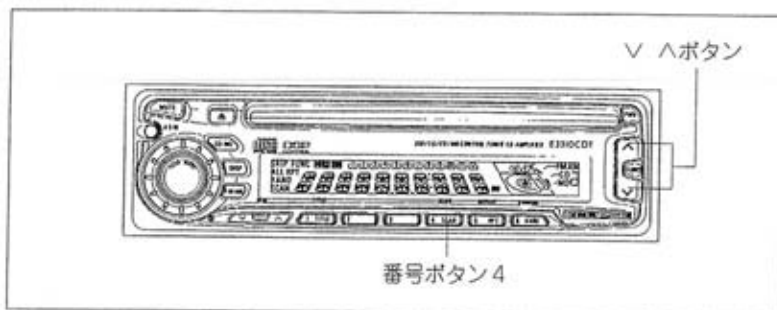
1 ■ [CD・MD] ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。CDチェンジャーなどを接続しているときは、ボタンを押すごとにCDプレーヤー→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。

ディスクが装てんされていない場合は、その機器を飛ばして切り換わります。

●注意●

演奏中のCDに傷があると、音が途切れることがあります。



■ 次の曲に進む／曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 ■ [V へ] ボタンを押す

へ 次の曲に進む

V 演奏中の曲の頭に戻る

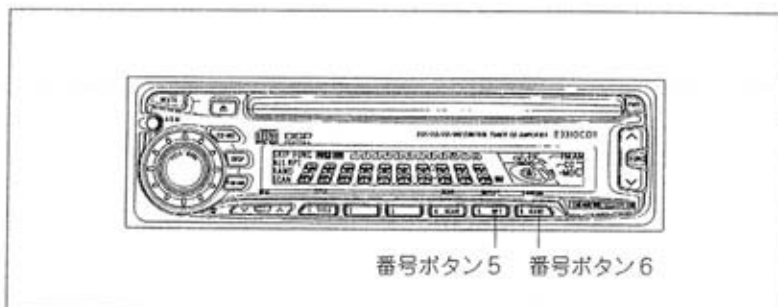


ボタンを押し続けると、演奏中の曲を早送り（へ方向）または早戻し（V方向）します。

■ 曲の始めの部分を演奏する（スキャン）

1 ■ [番号ボタン4] を押す

演奏しているCD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。



■繰り返し演奏する（^{リピート}REPEAT）

1 ■ [番号ボタン5] を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

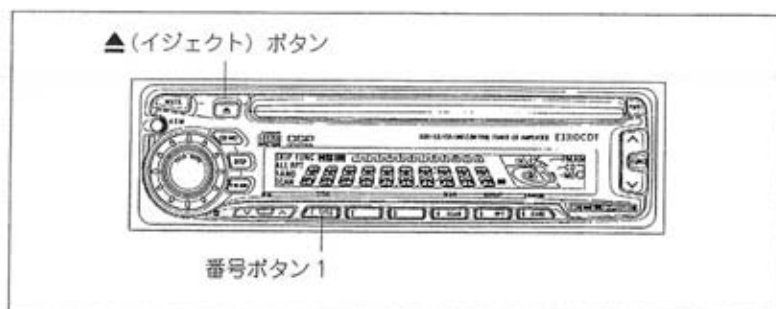
■曲の順番を変えて演奏する（^{ランダム}RANDOM）

1 ■ [番号ボタン6] を押す

演奏しているCD内の曲を順不同に演奏します。
まれに同じ曲が続けて選択される場合がありますが故障ではありません。



「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



■CDのジャンルを表示させる

CDを演奏中にすでに用意されているジャンルを表示させることができます。

1. [番号ボタン1] を押す

9種類のジャンルが用意されています。次の順に切り換わります。

1. JAZZ (ジャズ)
2. POPS (ポップス)
3. ROCK (ロック)
4. FUSION (フュージョン)
5. BALLAD (バラード)
6. GUEST (ゲスト)
7. FAVORITE (フェイバリット)
8. BRANDNEW (ブランニュー)
9. DELETE (デリート)

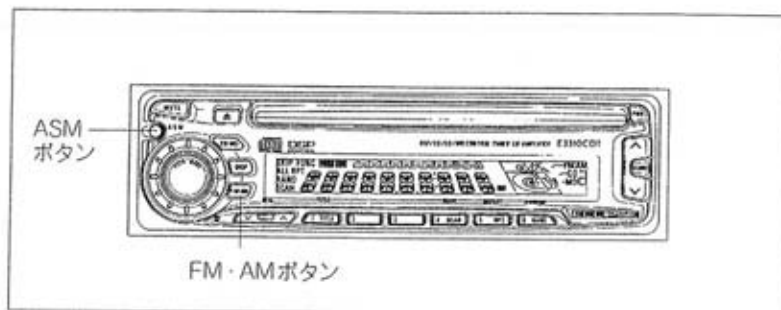


DELETE にすると表示されません。(それまで記憶していたジャンルを削除します)

■ディスクを取り出す

1. 「▲(イジェクト)」ボタンを2秒未満で押す
装てんされているディスクが排出されます。

◆チューナ部の操作



ここでの操作は、[FM・AM] ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。
放送局を記憶させるには、自動と手動の2通りの方法があります。

本機はFM 1、FM 2 が各 6 局、AM 1、AM 2 が各 6 局の合計 24 局を記憶できます。

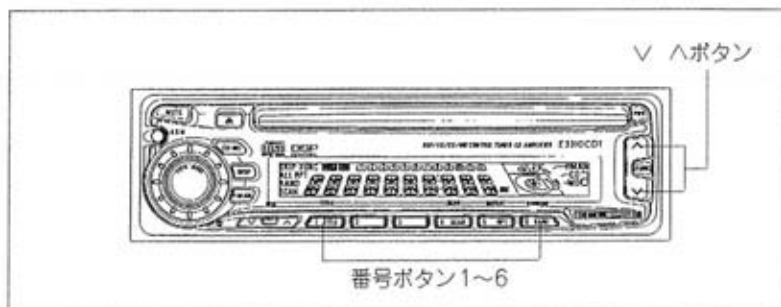
■自動的に放送局を記憶させる

1 ■「ASM ON」と表示されるまで [ASM] ボタンを押す

周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。
受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。
「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。



- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ご希望の放送がメモリーできなかった場合は、手動で放送を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照)



■手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送局がメモリできなかった場合など、手動で放送を選局する方法を説明します。

1. [V A] ボタンで記憶する周波数に合わせる

2. [P 1~6 MEMORY] と表示されるまで任意の
[番号ボタン1~6] を押す

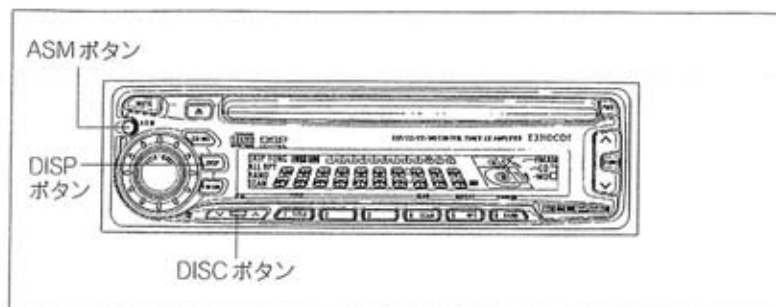
選択した放送局が[番号ボタン]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。



[番号ボタン] を押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

●注意●

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンの操作をしたときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



■記憶させた放送局を確認する

1 ■ [ASM] ボタンを押す

「P. SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。

再度 [ASM] ボタンを押すと解除されます。

■ 放送局名を表示する

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。
表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

● 注意 ●

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

1 ■ [DISC] ボタンを押す

押すごとに下表の順に放送局名エリアが切り換わります。

ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
HOKKAIDO	北海道
TOHOKU	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
KANTO	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京 神奈川、新潟、山梨、長野
CHUBU	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
KINKI	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
CHUGOKU	鳥取、島根、岡山、広島、山口
SHIKOKU	徳島、香川、愛媛、高知
KYUSYU	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎 鹿児島、沖縄
なし	

2 ■ 放送局名が表示されるまで [DISP] ボタンを押す

放送局名が表示されます。

●注意●

以下の点にご注意ください。

- ・ 500W以下のAM放送局（中継局）および100W以下のFM放送局（中継局）のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・ 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・ 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。

IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合

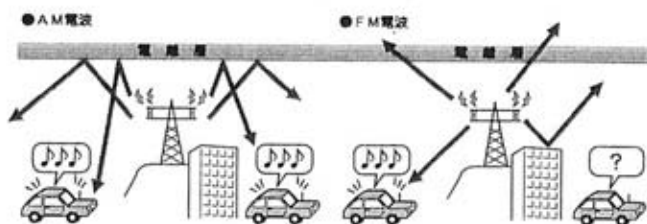
- ・ 放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。（10文字まで表示します。）
- ・ 本機の放送局名データは、平成11年1月1日現在のものです。

■ FM 放送について

FM放送は、普通のラジオ放送（AM）に比べて、よい音質聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1 ■ FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質を持っています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。

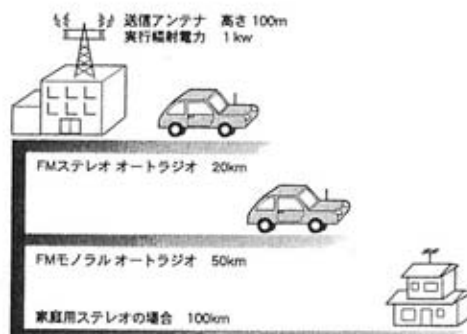


2. フェードアウト

FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質を持っています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャツ、シャツ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

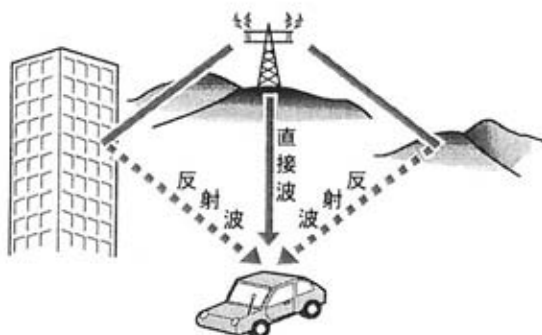
家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナの形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。



(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

4 ■ マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女性のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」（多重伝播）ひずみといいます。このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させてください。



◆リモコンの操作

リモコンは別売になっています。販売店で買い求めください。

使用上の注意

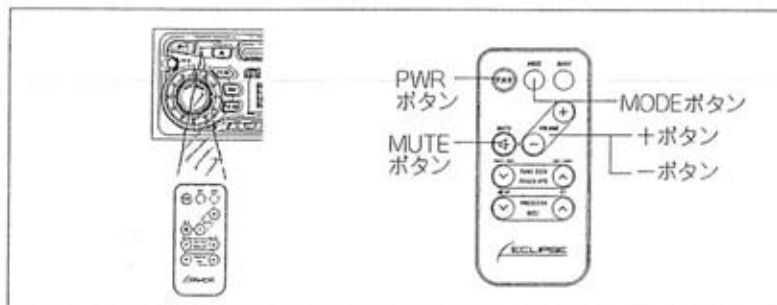
- ・ リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。
落としたりぶつかったりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・ リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・ 運転の妨げにならないようにご使用ください。

・ 本体側面の切換スイッチが“ACC ポジション無車側”になっているときは、リモコンで電源を切ってもスタンバイ状態のままになります。

車から降車される際は必ず本体の[PWR] ボタンを押して電源を切ってください。電源を切り忘れますとバッテリーが上がる恐れがあります。また、本体の電源が切れているときは、リモコンを使用することはできません。

清掃について

- ・ リモコンのお手入れの際は、乾いた布（汚れがひどい場合は水を少しつけて強くしぼった布）でふいてください。
ベンジン・シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



■電源を入れる／切る

1. ^{パワー}[PWR] ボタンを押す

押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

■音量を調節する

2. [+] ボタンまたは [-] ボタンを押す

[+] 音量が上がる

[-] 音量が下がる

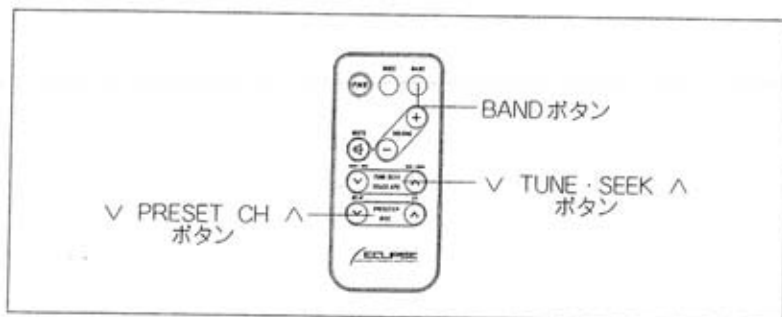
▼瞬時に音量を下げる（ミュート）

^{ミュート}
[MUTE] ボタンを押すと、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

■機能を切り換える

1. ^{モード}[MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとにチューナ→ディスク→TV→
チューナ（元に戻る）の順に切り換わります。
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛
ばして表示が切り換わります。



■チューナ利用時の操作

▼FM / AM を切り換える

1. ^{バンド}[BAND] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM 1 → FM 2 → AM 1 → AM 2 の順に切り換わります。

▼放送局を選ぶ（自動・手動）

ボタンを短く押すと手動で、長めに（1 秒以上）押すと自動で放送局を選べます。

1. ^{チューン} [V TUNE・SEEK ^{シーク} ^] ボタンを押す

^ 周波数の高い方へ選局

V 周波数の低い方へ選局

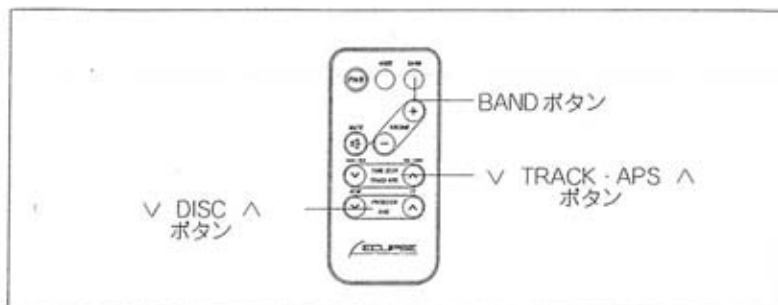
▼記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局（プリセット選局）から呼び出します。（手動で放送局を記憶させる 28 ページ参照）

1. ^{プリセット チャンネル} [V PRESET CH ^] ボタンを押す

^ プリセット番号の高い方へ選局

V プリセット番号の低い方へ選局



■ MD、CD 利用時の操作

▼ 次の曲に進む／曲の頭に戻る

1. [トラック TRACK · エービーエス APS] ボタンを押す
 △ 次の曲に進む
 ▼ 演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（△方向）または早戻し（▼方向）します。

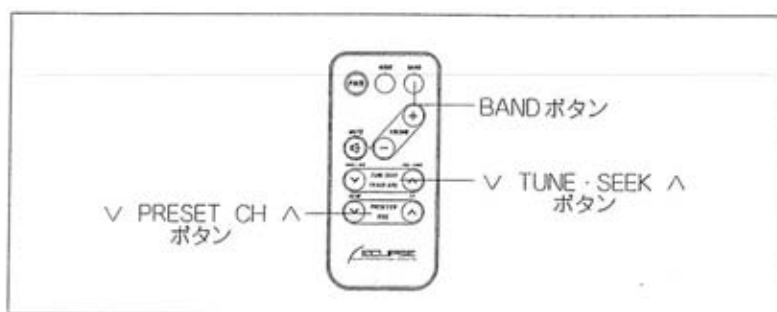
▼ 次のディスクに進む／前のディスクに戻る

（MDチェンジャー、CDオートチェンジャー接続時のみ）

1. [ディスク DISC] ボタンを押す
 △ ディスク番号が上のディスク
 （次のディスク）へ移動
 ▼ ディスク番号が下のディスク
 （前のディスク）へ移動

▼ ディスクモードを切り換える

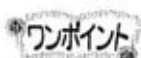
1. [バンド BAND] ボタンを押す
 CDプレーヤー→CDオートチェンジャー1→CDオート
 チェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わり
 ます。



■ TV 利用時の操作

▼チャンネルを選ぶ

1. [V ^{チューン} TUNE・^{シーグ} SEEK ^] ボタンを押す
 ^ 数字が上のチャンネルを選局
 V 数字が下のチャンネルを選局



ワンポイント
 [V ^{プリセット} PRESET CH ^ ^{チャンネル}] ボタンを使うと、本体でプリセットしたチャンネルを選局できます。

▼バンドを切り換える

1. [^{バンド} BAND] ボタンを押す
 ボタンを押すごとに、TV 1 → TV 2 の順に切り換わります。

■電池を交換する

⚠ 警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025（1個）をご使用ください。
以下の手順で電池を交換します。

- 1 ■ リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に移動して解除したまま、つまをひっかけて電池ケースを引き出す



- 2 ■ 電池を入れ替える

＋表示を上にして電池をセットしてください。



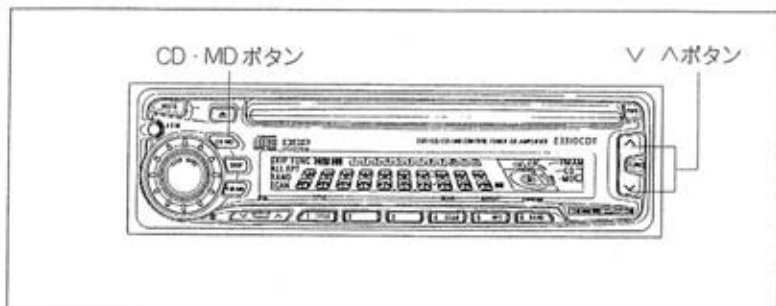
- 3 ■ カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める



●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

◆ (別売) CD オートチェンジャーを接続したときの操作



■ 基本操作

CDオートチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。

チューナから切り換えるときは [CD・MD] ボタンを押してください。

▼ MD / CD を切り換える

1. [CD・MD] ボタンを押す

CDプレーヤー→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼ 次の曲に進む / 曲の頭に戻る

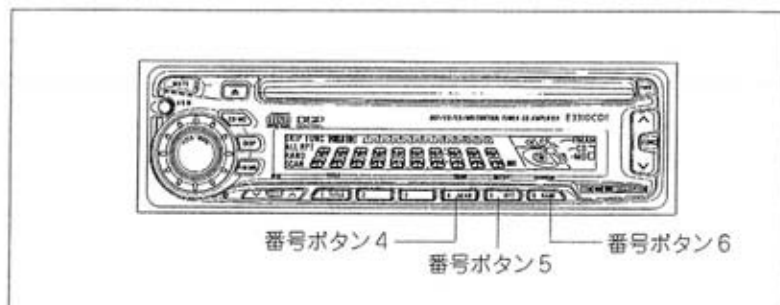
1. [V △] ボタンを押す

△ 次の曲に進む

V 演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（△方向）または早戻し（V方向）します。



▼曲の始めの部分を演奏する (SCAN^{スキャン})

1. [番号ボタン4] を押す

演奏しているCD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する (REPEAT^{リピート})

1. [番号ボタン5] を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する (RANDOM^{ランダム})

1. [番号ボタン6] を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

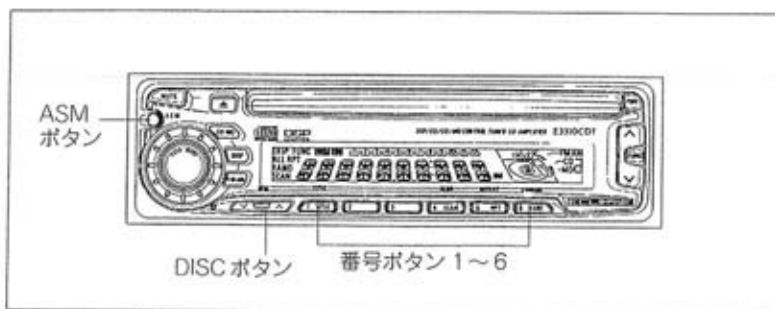
「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全CDの曲を順不同に演奏します。

まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

★ポイント

「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

(別売) CD オートチェンジャーを接続したときの操作



▼次のディスクに進む／前のディスクに戻る

1. [DISC] ボタンを押す
 - △CD 番号が上のディスクへ移る
 - ▽CD 番号が下のディスクへ移る

▼演奏するディスクを指定する

装てんしているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM] ボタンを押す
2. [番号ボタン 1~6] のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
CD 番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

CD 番号 7~12 を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。

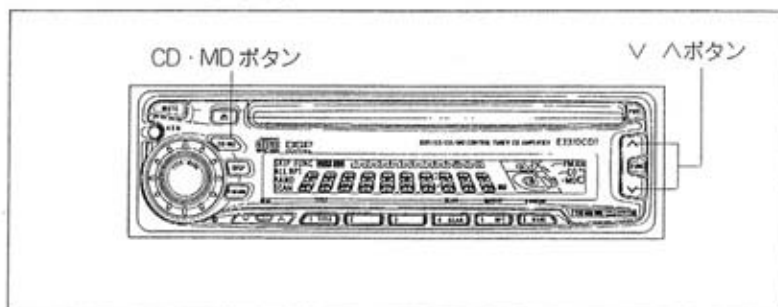
▼CD のジャンルを表示させる

CD を演奏中にすでに用意されているジャンルを表示させることができます。

1. [番号ボタン 1] を押す



◆ (別売) MD チェンジャーを接続したときの操作



■ 基本操作

MD チェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。

チューナーから切り換えるときは [CD・MD] ボタンを押してください。

▼ MD / CD を切り換える

1. [CD・MD] ボタンを押す

CD プレーヤー → CD オートチェンジャー 1 → CD オートチェンジャー 2 → MD チェンジャー → の順に切り換わります。

ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼ 次の曲に進む / 曲の頭に戻る

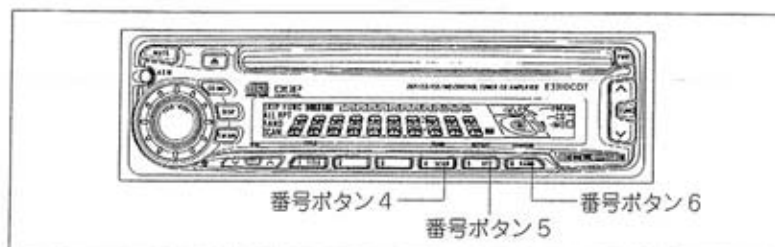
1. [ハ V] ボタンを押す

ハ…次の曲に進む

V…演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（ハ方向）または早戻し（V方向）します。



▼曲の始めの部分を演奏する (SCAN^{スキャン})

1. [番号ボタン 4] を押す

演奏中のディスク内の全曲の始めの部分を 10 秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスクの 1 曲目を 10 秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する (REPEAT^{リピート})

1. [番号ボタン 5] を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスク内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する (RANDOM^{ランダム})

1. [番号ボタン 6] を押す

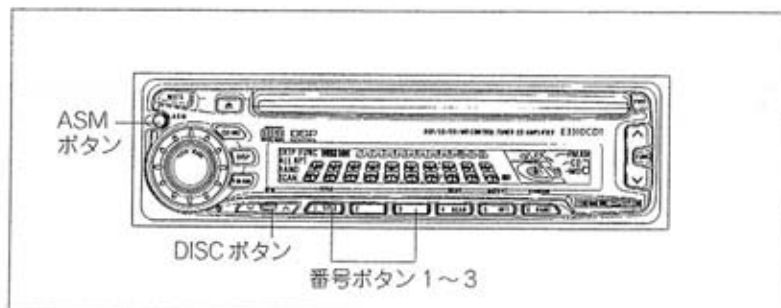
演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスク内の曲を順不同に演奏します。

まれに同じ曲が続けて演奏 (選択) されることがありますが、故障ではありません。



「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」「RPT」、「RAND」「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



▼次のディスクに進む／前のディスクに戻る

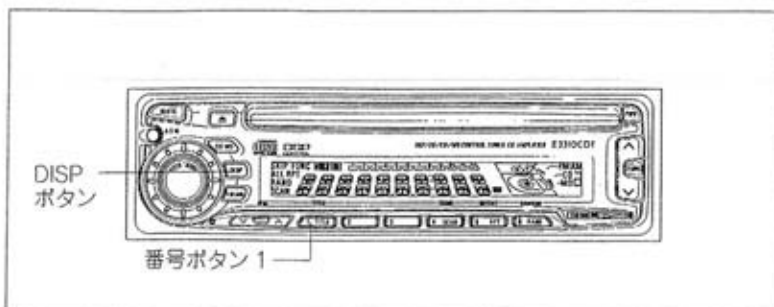
1. [DISC] ボタンを押す
 - △MD 番号が上のディスクへ移る
 - ▽MD 番号が下のディスクへ移る

▼演奏するディスクを指定する

装てんしているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM] ボタンを押す
2. [番号ボタン 1~3] のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3
ディスク No.	1	2	3



■ タイトル名／曲名を表示する

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらをスクロール表示することができます。表示可能な文字は、英、数、カタカナ（ローマ字で表示）は合わせて32文字です。

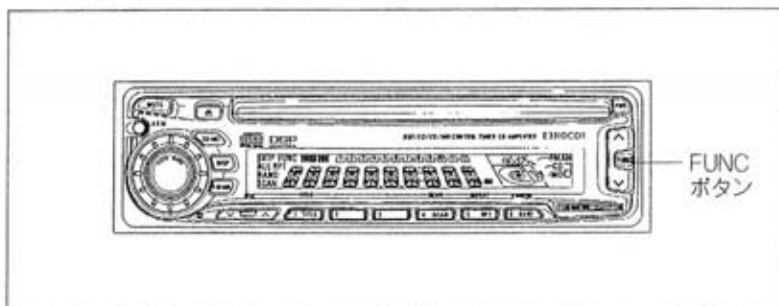
1. ^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える

2. [番号ボタン1] を押す
ボタンを押すごとに、ディスクタイトル→トラックタイトルの順に切り換わりトラックタイトルで固定されます。再度ボタンを押すと、ディスクタイトルから表示されます。

● 注意 ●

ミニディスクにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。

◆ (別売) DSP / EQ を接続したときの操作



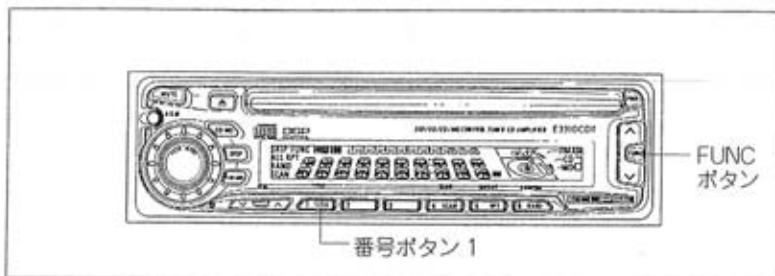
■ DSP の操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

ここでの操作は [FUNC] ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここではすでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。



DSP が ON になっているときは表示部上部に「DSP」と表示され確認することができます。



▼ルームサイズを切り換える

1. [番号ボタン 1] ボタンを押してルームサイズを切り換える

5 パターンのルームサイズが用意されています。次の順に切り換わります。

1. CONCERT (コンサートホール)
2. LIVE (ライブハウス)
3. CATHEDRAL (残響音の多い教会)
4. STUDIUM (野外スタジアム)
5. CLUB (クラブ)
6. DEFEAT (DSP OFF)

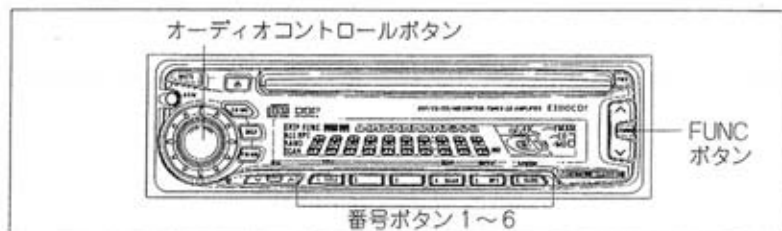
2. [FUNC] ボタンを押す

▼各モードの詳細を調整する

各ルームサイズのモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいルームサイズが表示されるまで [番号ボタン 1] を押す
2. ルームサイズが表示が点滅するまで再度 [番号ボタン 1] を押す

DSP 調整モードに切り換わります。



3. 「オーディオコントロール」 ボタンを押して調節するモードを選ぶ

モードは、次の順に切り換わります。

LR 000 dB	(残響音レベル)*
LR 000 S	(残響時間)*
ER 000 dB	(初期反射音レベル)
ER 000 ms	(初期反射時間)

* 残響音レベル、残響時間は、CONCERT モード / CATHEDRAL モード時のみ調整可能です。

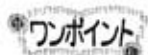
4. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
レベルや時間を調整します。

右に回す 数値が増加

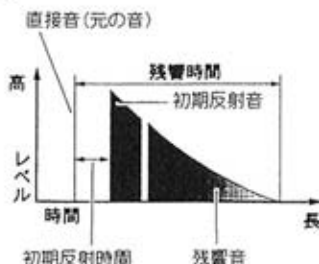
左に回す 数値が減少

5. [P 1~6 MEMORY] と表示されるまで記憶させる
[番号ボタン] (プリセットボタン) を押す
プリセットが書きかわります。

6. [FUNC] ボタンを押す
[DSP ADJUST] と表示されます
調節モードが解除され、変更が有効になります。



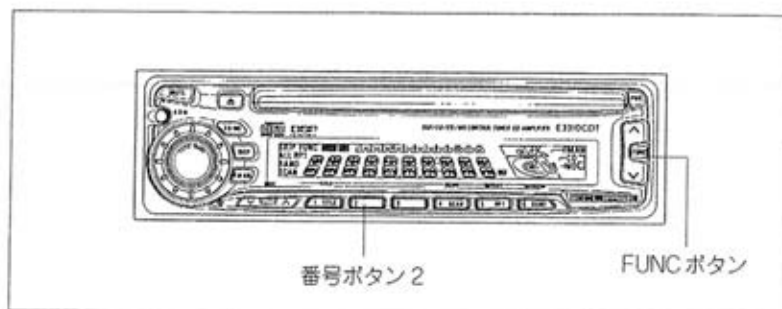
簡易調整については、19ページの「出力レベルを調整する」を参照してください。



▼記憶したパターンを呼び出す

[番号ボタン]にあらかじめ記憶したルームサイズを呼び出します。ルームサイズを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. ルームサイズが点滅表示されるまで [番号ボタン 1] を押す。
2. 任意の [番号ボタン] を押してルームサイズを選択する。
3. [FUNC] ボタンを押す
「DSP ADJUST」と表示されます
選択したルームサイズが有効になります。



■ EQ の操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。

ここでの操作は [FUNC] ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。

ここではすでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。



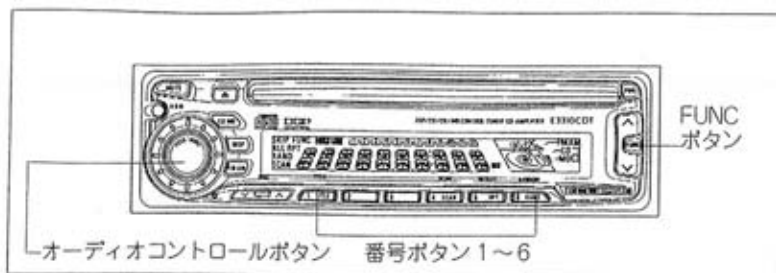
EQがONになっているときは表示部上部に「EQ」と表示され、確認することができます。

▼イコライザを切り換える

1. [番号ボタン2]を押してイコライザモードを切り換える

6パターンのイコライザモードが用意されています。
次の順に切り換わります。

1. POPS (ポップス)
2. ROCK (ロック)
3. JAZZ (ジャズ)
4. CLASSIC (クラシック)
5. VOCAL (ボーカル)
6. NEWS (ニュース)
7. DEFEAT (EQ OFF)

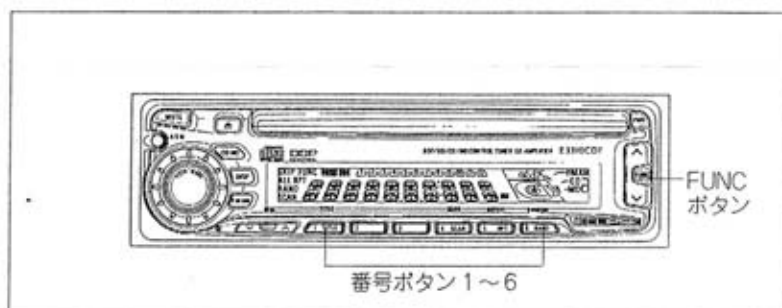


2. [FUNC] ボタンを押す

▼各モードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいイコライザモードが表示されるまで
[番号ボタン 2] を押す
2. イコライザモードの表示が点滅するまで再度 [番号ボタン 2] を押す
EQ 調整モードに切り換わります。
3. [オーディオコントロール] ボタンを押して周波数を切り換える
周波数は、次の順に切り換わります。
63Hz → 125Hz → 250Hz → 500Hz → 1KHz → 4KHz
→ 12KHz
4. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
レベルを調整します。
右に回す 数値が増加
左に回す 数値が減少
5. [P 1 ~ 6 MEMORY] と表示されるまで記憶させる
[番号ボタン] (プリセットボタン) を押す
プリセットが書きかわります。
6. [FUNC] ボタンを押す
[EQ ADJUST] と表示されます
調節モードが解除され、変更した内容が有効になります。



簡易調整については、19ページの「出力レベルを調整する」を参照してください。

▼記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶されたイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. イコライザモードが点滅表示されるまで [番号ボタン 2] を押す
2. 任意の [番号ボタン] を押してイコライザモードを選択する
3. [FUNC] ボタンを押す
「EQ ADJUST」と表示されます

選択したイコライザモードが有効になります。

◆インフォメーションが点滅する

■トラブルシューティング

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

インフォメーション	状態	対処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	オートチェンジャーのメカトラブル	・ オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。 ・ イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談下さい。

7	オートチェンジャーの内部 電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、 再度ONにしてから操 作してください。それ でも機能が停止してい るときは、お買い求め の販売店にご相談くだ さい。
8*	ディスクの交換トラブルが 発生している	ディスクを再度挿入す るか、取り出してくだ さい。

*この内容は、MDのみ適用されます。
症状が改善できない場合は、機器の故障が考えられます。
お求めの販売店にお持ち込みください。

◆困ったときは

	症 状	原 因	処 置	参 照 ページ
共 通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	15
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	15
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	19
		その他、音声信号配線の断線、スピーカの故障などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取付されて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、電源、通信配線の断線、などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	メモリした周波数が消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	24,25
		一度にたくさんの電装品を取付されて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、電源、通信配線の断線、などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定が切られていますか。	ガイドトーンの設定をし直してください。	17
	リモコン操作ができない。	電池が消耗していませんか。	電池を交換してください。	36,37
		電池の向きが+-逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直してください。	36
		リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか。	リモコン受光部にリモコンを近づけてご使用ください。	32
		その他、リモコンの故障が考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症 状	原 因	処 置	参 照 ページ
C D	ディスクが入らない。ディスクを入れてもすぐ出てくる。または、ディスクが排出できない。ディスクチェンジができない。	ディスクにラベルやシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにはラベルやシールなどを貼り付けしないでください。	8
		ディスクにバリや変形、破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。バリのあるディスクは、バリを取り去ってご使用ください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	9
	音が飛ぶ。音が途切れる。音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	
		取付角度は適正ですか。取付にガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	7
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	その他、ディスクに記録されている音楽ソースの音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		アンテナが収納状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	24 25
		旅行などで、放送サービスエリアを外れていますか。	旅行先の地域の放送周波数にセットし直してください。(放送サービスの無い地域もありますのでご注意ください)	27
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていますか。(高周波数を使用する機器は電波障害を引き起こす可能性があります)	機器のご使用はできる限り避けてください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

◆仕様について

CD部

周波数特性	20～20,000Hz
ダイナミックレンジ	96dB
S/N比	96dB (IHF-Aネットワーク)
チャンネルセパレーション	68dB
高調波歪率	0.03% (0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

チューナ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	12dBf (S/N30dB)
周波数特性	30～15,000Hz
ステレオセパレーション	38dB

チューナ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	22 μ V (S/N20dB)

共通部

トーンコントロール	BASS ± 10 dB (100Hz) TREBLE ± 10 dB (10kHz)
ラウドネス	100Hz: +9dB / 10kHz: +5dB
最大出力	40W $\times$ 4
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
出力レベル (LINE OUT)	330mV / -20dB
電源電圧	DC13.2V (11～16V) ⊖アース専用
消費電流	約3A (1W $\times$ 4出力時)、約13A (最大)
寸法	178mm (幅) $\times$ 50mm (高さ) $\times$ 155mm (奥行)
重量	約1.5kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

◆アフターサービスについて

1. 販売店でお渡しする保証書は、かならず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をその場でお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 故障かなと思ったときは、修理に出す前に本書の「困ったときは」(54、55 ページ) をご覧のうえ、もう一度お調べください。それでも問題が解決しない場合は、次の要領でお問い合わせください。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検における商品の脱着費用は、保証期間内でも基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
お客様のご希望により、有料で修理いたします。
4. 出張による修理および点検は行っておりません。
かならずお買い求めの販売店にお持ち込みください。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスについて

商品に関するお問い合わせ先

(修理に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ)

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

富士通テン北海道(株)	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字箕宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
仙台支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(076)222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号 (サウスポット静岡13階)	(054)203-0090	静岡
富士通テン関西(株)	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078)811-2451	兵庫
大阪支店	〒571-0064 大阪府門真市御堂町3番23号	(06)6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、 和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西蔵町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松営業所	〒760-0034 高松市内町1番13号 (日新内町ビル)	(087)822-1411	四国地区
富士通テン西日本(株)	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号 (スカイビル)	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

(商品の機能・操作等に関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ)
【お客様相談窓口】

富士通テン北海道(株)	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	(03)3366-3833	東北、関東、甲信越地区
富士通テン中部(株)	(052)581-8726	中部、北陸地区
富士通テン関西(株)	(078)811-2451	近畿、中国、四国地区
富士通テン西日本(株)	(092)511-3252	九州全域、沖縄
富士通テン(株)本社	0120-022210	

受付時間：午前 10:00～12:00 午後 1:00～5:00
(土・日・祝日などを除く)

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081 (代表)

090002-23730700
9910DE (N)